No.17 昭和60年4月 (1)

凌霜ラガー通信

連絡先 〒545 大阪市阿倍野区文の里 3-14-8-304
山下 弘 TEL 06-621-9751

個人のレベルアップを図る

新主将 向井昌博

昭和60年度のシーズンを前に、伝統ある神戸大学ラグビー部の主将に任命され、50名近くの部員をまとめて行くことに非常に責任を感じております。

さて、現在我々が所属するBリーグにおいては、各チームのレベルが均一化してきております。すなわち、上位進出も十分可能であるとともに、少し油断すると、下位に落ちてしまうこともあります。しかし、我がチームの目標はあくまでリーグ戦優勝とAリーグ昇格でありますから、この混戦を乗り切って、この願いを必ず成就させたいと思っております。

3年前の準優勝はともかく、一昨年、昨年と能力を持っていながら4位に甘んじてしまい残念でなりません。この3年間の経験で、個人のレベルアップなくして全体のレベルアップはありえないということを痛感いたしました。この様な観点から、今年度、とくに春のシーズンにおいては、個人のレベルアップを図りたいと思っております。練習中はもちろん、前後の時間を利用してのウエイトトレーニング、個人練習あるいは、パート別の練習など、個人々々それぞれの目標を持って努力することをまず考えたいと思います。次にチーム全体としては、ラグビーの原点に立ち返り、FWはスクラム、ラインアウトの強化、BKはディフェンスを特に鍛えたいと思います。

59年度の卒業生はレギュラークラスが多く、層はうすくなりますが、残された部員達の自覚によって、その穴を埋めてくれると信じております。59年度の新入部員19名は例年にない大量入部でありましたが、初心者も多く、心配されておりました。しかし、1人の脱落者もなく、日々にたくましさを加えており、2年目の今年は必ずや重要な戦力になってくれるに相違ありません。

なお、今年度の春のシーズンには、近畿国立大学体育大会への参加も予定されており、公式戦の貴重な経験として、秋のリーグ戦にそれを発揮してくれるでしょう。

最後になりましたが、OB各位には、御多忙の事と存じますが、六甲台グランドに御立寄り頂き、直接の御指導、御鞭撻いただければ幸甚に存じます。

現役新役員紹介

役名	氏名	学年	学部
主将	向井 昌博	4	教育
副将	山口 基	〃	医
主務	矢野 順三	〃	経営
副務	児玉 信悟	3	経済
マネージャー	谷口 直子	〃	教育
〃	山本 路子	〃	〃
〃	新村 夕美	2	〃
〃	中山 智子	〃	〃

急告／OB：現役戦日程変更

例年、4月29日（祝）に行われておりますOB：現役戦を、本年は現役が近畿国立大学体育大会に参加するため、当日第1回戦が行われますので、本年だけ1日繰り上げ、下記の通り、**4月28日**に行います。ノーサイド後食堂に於て懇親会を開きますので、多数の先輩方のご参加をお待ち致しております。

1. 日時 4月28日（日）13時集合 14時KO
2. 場所 六甲台グランド 及び 学生食堂
3. 会費 1,000円 （不足分は補助します）

卒業生就職先紹介

氏名	学部	就職（進学）先
青木 一彦	経営	帝人
伊井 正明	教育	大阪教員
遠藤 勉	工	神大大学院
加島 志郎	経済	ジオン商事
加野 直生	教育	神大大学院
谷 哲二郎	経済	住友商事
玉置 誠	経営	日商岩井
西野 裕章	〃	三和銀行
林 敬一	経済	帝人
平野 勲	〃	豊田通商
古野 行徳	経営	伊藤忠商事
森岡 秀文	〃	日商岩井
柳瀬 秀夫	法	東レ
渡辺 隆	経営	伊藤忠商事
佐々木章乃	教育	兵庫教員
渡辺奈利子	経営	ノエビア化粧品
小松 伸啓	〃	日商岩井

訃報

野村寅三郎先生（顧問）が本年1月逝去されました。謹しんでご冥福をお祈り申し上げます。

59年をふり返って

前主将　森岡秀文

昨年度の戦績は7戦3勝3敗1分けでBリーグ4位（大阪教育大、関西大、京都教育大に勝ち、甲南大、関西学院大、京都大に敗れ、大阪市大に引き分け）一昨年と同様の結果に終った。

「実力はあるのに……」長いリーグ戦を終えた後、ここ数年来諸先輩方のこぼされた感想を、くり返し今年も口にしなければならなくなったことに対し歯がゆい思いをするばかりである。

我々の過ごした4年間を振り返ってみて、2回生の頃から現在の気風が確立していったように思う。その気風とは、一口で言えば「自由、自主的、楽しさ、……」と言った言葉に集約されると思うが、それはあくまで一面をとらえたものに過ぎず、今年は、そうした独善的思考が大きなしっぺがえしを食らった年だと解釈する。

運営から指導まで、大部分を現役4回生で賄わなければならないことは、方針の一貫性や統一性を欠く原因となり、これまでの4回生の先輩方の御苦労を初めて知らしめられたわけだが、何よりも我々の統率力がなく、こうした表面上"民主的"な面を構えた気風に頼らざるを得なかったことに、もうひとつ後味の悪かった戦果の反省材料が求められる。

後輩諸君。君達は我々のこうした悪しき面も、逆に良い面もストレートに受けとめることができたと思う。我々が近年にない"怖くない4回生"であったことに、我々は情けなさを痛感する一方であるが、君達には今後の部の方針を決定する上で少しは役に立つだろうと思う。

幸い、戦力的には昨年と比べて何らひけをとることもなく、今年もやはり「大いに期待できる」要は、もってゆきようである。試合に際し、チームが潜在的に持っている力の7割か8割も出し切ることができたら、負けるはずがないのである。

いつになく真面目な訓示を垂れてしまったが、それほど今年にかける私の期待は大きい。歌の文句ではないが「へだめなだめな、ほんとにだめな、いつまでたっても、だめな私」が思わず模範生になりそうな今日この頃である。

頑張ってくれ。

お便り紹介

編集部へ2、3お手紙を載いておりますのでちょっと紹介させていただきます。ありがとうございました。（敬称略）

中山源七（昭7）凌霜ラガー通信御送付いただき有難う存じます。色々と書いて下さり面映い気が致しますが楽しく読みました。

古い人が少くなっているので次回には2、3の人を誘い出して総会に出ようかと思ったりです。　益々御活躍の程を祈っています。

木水　肇（昭17）度々凌霜ラガー通信をいただき有難うございます。我々の時代には京大、関学と三大学同率となった程健闘していました。高校時代のベテランが多く、相当な顔ぶれでしたが、余り会費を払っている人がいない様です。時には会費を取りがてら、近況報告で訪問され↗

ラグビーは楽しんでやるもの

加野直生（昭60）

私は高校時代から数えて7年間ラグビーをしました。しかし振り返ってみてラグビーほど自分の性格に合わないスポーツはないと思う。気が弱く、憶病で唯一の救いがまじめさであるという自分にとって格闘技とも言われるこのスポーツは確かに合わないものであった。でも自分自身それを乗り越えたかった。高校時代は仲間関係でうまくいかなかったこともあったが一所懸命やっているうちに3年が過ぎた。私みたいな人間ではより過激な大学のラグビーは無理だと諦めかかっていたが、ちょうどそのころ4年で高校の先輩である中本さんに誘われ一度練習をしてみた。ボールを持って走ることはすごく快感だった。だから大学では高校時代のような失敗はせずにラグビーに賭け、仲間とともにやっていこうと決意したのです。しかし今から考えてみるとこの時の自分にはラグビーを楽しむとか、仲間と青春を謳歌しようという気持なんてかけらもなかった。ただ先輩に言われるままにまじめに練習するだけで自分の殻を破れなかった。そしてある時、心に迷いがでてきた。結局、ラグビーを楽しまず、むりやり自分をラグビーに追いやったため無理がでてきたのであった。そして一所懸命やれなくなってしまった。何度もやめようと思った。精神的にめいって、顔の表情まで悪くなった。でも2年間「やめる」の一言が言えなかった。4年になる前「やめる」と言ったが、その時は仲間がとめた。4年という最高学年になってこれでよいのかとも思ったが、うちのモットーである"Enjoy Rugby"に浸ってみようと思った。でもなかなかふんぎりがつかなかった。教育実習等ラグビー以外の経験を通して、私は自分のすることは楽しくあらねばならないと思った。やるのなら一所懸命やろうと考えた。その後は自分の心に鞭を打って試合や練習に臨んだ。ふっきれて仲間とも打ち解けてきた。すべてが楽しくなってきた。本当にラグビーて楽しんでやるもんだなと思いました。しかし最後まで補欠で、またトライも必殺タックルも一発も決められなかった。しかしラグビーからは多くのものを学んだ。そして今、タックルの精神を身につけるためにどうすればいいか考え、努力しています。私のラグビー体験は本当につまらないものですが、将来教師になるつもりなので機会があればこの経験をいかし、子供たちの指導にあたりたいと思っています。

夏期合宿の応援と指導のお願い

現役の夏期合宿での指導を毎年ご苦労さんです。夏期合宿の成果がその年のシーズンに表われると言われています。素質のある選手が多いようですので多数の参加によるご指導と叱咤激励をお願いします。

昨年同様1人一律1万円の補助を致しますので現地にて卒年、氏名をマネージャーに申し出て下さい。但し会費未納の方は会費に充当させていただきます。

↗てはいかがですか。

今シーズンの健闘を期待しています。

ラグビーの思い出

伊東史郎（昭23）

この1月大阪ロータリーの自己紹介にて「神戸経済大学時代はラグビーをやって居りました。昭和22年秋、西宮のグランドで今をときめく同志社大学と対戦し勝ったことが……」とのくだりで一瞬会場が湧きましたが、同じ同志社には変りがないわけで、時々の私の自慢話でもあるわけです。

当時の模様を写真と共に回想しますと、メンバーは羽田、今津先輩をはじめ、柏木、太田、永田、岡田、松田、船曳、嘉納、江藤各氏他の懐しい皆さんの顔が若々しく元気で写っています。同志社のおそろいのユニホームと違って全員バラバラ、而もつぎはぎだらけの見事な出で立ちであります。スパイクも昔しから街頭の靴修繕にみられるカナ型の台を買ってきて、自分で皮を三層に並べ釘でうってスパイクの型に切った思い出が残っている。とにかく予想もしなかった同志社に見事29－6での快勝で、赤チンで顔半分を真赤にして帰った記憶も生々しい。

私が予科に入学したのは昭和18年3月、それから1年間は御影の思誠寮にて全寮生活、その1年の後半からは各運動班別の部屋割りとなったと記憶している。当時闘球班と称し、部長は英文学の二宮尊道先生。厳寒の頃、早朝二宮先生の号令一喝にて目を覚まされ、全員裸で風呂場にて冷水を浴び、斎戒沐浴、そして御影のグランドにて早朝練習、輝き出した朝陽と共に心地良い爽快さを感じつつ帰寮した思い出も懐しい。

当時は戦争の激化と共に、町並みが日々焦土と化してゆき、そして、たえず明日は今日よりも悪くなってゆく移ろいの中で、而も戦争と言う個人としてはどうも出来ない不確実性との相克の中で、若き情感を大きく渦まかせて、何としてでも精神的な拠り所を求めようとしていた我々にとっての貴重な青春の一齣でもあったわけで、やがて戦争の深まりと共に、1人又1人と出征し、予科2年目も終りに近ずいた時はフィフティーンはおろか数人を数える程になった。今も私の当時のアルバムには20年の1月、同じラグビー仲間の予科3回生の新京こと稲田浩先輩の出征時の写真、彼を囲んだ僅か5人のメンバーがはっきり写っている。そして、この5人の中でまさかこの元気な稲田先輩、そして北野中学より同窓の池田康次郎君が戦死、不帰の人とならられるとは今だに信じられない気持である。心よりご冥福を祈りたい。

本当に激動の時代であった。当時の体験があまりにも激烈であった為ついこの間の出来事の様に思える。

今手許に「Number」と言うスポーツグラフィックの雑誌がある。表題にはラグビー熱い残像。ーまだノーサイドの笛が聞えるーラグビークライマックス……等々大きな題字が目に入ってくる。正にラグビー全盛期である。私もシーズンには主要ゲームは欠かさずみている。国立競技場にも時々観戦に行く。そのわりには、平素凌霜ラガーの皆さんとはご無沙汰をしています。深く恐縮している次第です。

現役の皆様のご活躍、そして凌霜ラガーの皆様のますますのご発展を祈って筆を擱きます。

現役時代の反省と近況

寺西直康（昭43）

現役時代は同期生が17～8人も居り、ほとんどが卒業まで止めずになんとかがんばった神大ラグビー部団塊の世代の一員でした。室賀君や徳宮君等、高校時代から全国大会で活躍した連中と違い適当にチンタラチンタラ練習をしていました。それでも私以外には資質に恵まれた選手が結構いてそんなにさぼりもせずそこそこの練習をしていました。

しかしながら先輩の方々が折角Aリーグに上げてくれ、いろいろ指導してくれたにもかかわらず残念ながら大学選手権に出場するには至りませんでした。（その頃は出場しようという意欲も乏しかったと思います。）そこそこの練習をやっていたのに結果が思わしくなかったのは何故か当時の頃を振り返ってみますと、いろいろあったとは思いますが「自主性」に欠けていたのが一番の原因ではないかと思います。

主将の室賀君はキャプテンシーに優れ練習の計画もキチッとたててやっていたのですが、部員の方が優しい小羊の群で主体性に乏しかったように思います。（同期の皆さんごめんなさい。）関東で種々のチームの練習やハイレベルの試合を数々見てきましたが、今や早稲田、慶応から下は街の草ラグビーチームまで練習方法はほとんど変りません。自分から進んで練習に取り組もうとする意思を持っているか、又いかに激しく、すばやく、そしてていねいに練習をしようとしているか、片や悪い意味でのサラリーマン的になってスケジュールどおりなんとなくこなしていくかの違いで大きく差が着くように思います。よく練習のための練習といわれますが、常に試合を想定し向上心を持って取り組めば試合のための練習となるでしょう。現役時代を振り返り、当時のメンバーの顔を思い浮べるとあれだけのメンバーが揃いながらと今更ながら残念に思われてなりません。現役時代は少しも気がつかなかったのに、草ラグビーの監督なんか引受けて若い連中を指導するようになった昨今、やっと気が付いたような次第です。

現役諸君、勝利は自分の為です。

自から勝利を得るため強い意思をもって、自分の為のラグビーをして下さい。

卒業後の方がラグビーに対してむしろ熱心になり、現在は「ガールズ」というやさしい名前のチームに所属して、40才も目前というのに毎週ボールを追っています。とはいえ、体力の衰えはいかんともしがたく、生傷が断えません。愚妻にイヤミを言われ、ムッとしながらも認めざるを得ず、健康保険証を肌身離さずプレーをしています。

練習後、試合後のアルコールのみが気力を奮い立たせる唯一の薬となり、薄くなった髪を気にしながらジャージーの袖に腕をとおす中年となりました。自分ではそれもええやないかと自己満足していますがチームの連中は「おっさん」とか「海ボウズ」とか呼んで引退を心待ちにしているようです。（10.1付で名古屋に転勤となりました）

現役の抱負

主務　矢野順三

4年生
岡田　功　今年は怪我をしないようにがんばる。
土居幸治　今年はレギュラーになります。
中瀬裕寛　体調を整え、がんばる。
中谷久一　ラグビーで目立ちたい。
新川一也　バックスの一角に定着したい。
新村明寛　技だけでなく、力もつけたい。
槇本朋史　ウエイトトレーニングでパワーをつける。
向井昌博（主将）責任は重いが、Aリーグ目指してがんばる。
安井健悟　機動力あるフッカーになります。
安武幹雄　生涯1タックラー。
矢野順三（主務）いろいろ仕事が多いが、プレーヤーとしてもがんばります。
山口　基（副将）向井を補佐してがんばる。

3年生
芦田　泰　レギュラーに定着したい。
池田訓清　思いきりやります。
大寺一朗　1つのポジションに定着したい。
鬼丸省一　強いスクラムを目指す。
鎌田雅彦　もっとパワーをつけたい。
児玉信吾（副務）スクラムハーフのレギュラーを狙う。
柴田俊介　昨年は骨折して残念だった。
田村遠郎　ディフェンスをがんばる。
東川浩三　今年こそレギュラーになる。
友井伸一　立派なプロップになります。
中村敏章　パワフルなウイングを目指す。
藤井貞男　もっと体重を増したい。
向井信之　破壊力をつけたい。
草野浩之　走力をつけたい。

2年生
安藤　豊　体力づくりに励みます。
植木心一　もっとラグビーを勉強します。
上森　博　兄に負けないウイングになります。
太田昌宏　スクラムをがんばる。
大野慎治　ロックのポジション争いに加わる。
尾崎潤一郎　立派なフッカーになります。
木田利明　フランカーは多いが、がんばります。
北濱敏孝　フルバックとしてがんばりたい。
金子隆太　立派なフランカーと呼ばれるようになりたい。
近藤雅文　もっと太りたい。
鈴木律好　もっとラグビーを知りたい。
田川武弘　キック以外にも取得があるところを見せる。
竹島智也　体力をつけます。
西野雅明　筋力アップ！
福田昌玄　タックルを勉強する。
福本裕郁　かけ声ばかりでなく、体力もついてゆくようにする。
山田健史　ロックとしてがんばる。
渡辺義文　走力以外にも取得をつくる。

マネージャー
谷口直子（3年）がんばります。
山本路子（3年）部員にラグビーに専念してもらえるようにする。
↗新村夕美（2年）一生懸命やります。
中山智子（2年）がんばります。

関西ラグビーフットボール協会史より

（その2）

●第十一回大会　昭和11年1月3、4、6、8日
第十一回大会からは予選を12地区で行うことになった。即ち

1	北海道	北大予科
2	東　北	第二高等学校
3	関東A	早稲田高等学校
4	関東B	明大予科
5	東海、京都	三重高農
6	大阪、紀和	天理外語
7	兵　庫	神戸高商
8	中国、四国	高知高等学校
9	九　州	明治専門
10	朝　鮮	普成専門
11	台　湾	台大農専
12	満　洲	南満工専

二回戦の早高と明大予科の試合が事実上の優勝戦と目されていたが、中等学校の俊英を多数揃えた明大予科が準決勝で天理外語に3点を許したのみで大差をもって優勝した。

第一回戦
第1試合　昭和11年1月3日　於　花園
天理外語　41（17－0、24－0）0　神戸高商
レフリー　長沖

天	加	志	中	花	立	吉	金	吉	加	大	上	小	鳥	葭	高
理	藤	村	村	房	野	川	平	田	藤	塚	島	磯	取	本	橋
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
神	浜	小	浜	矢	田	江	杉	浜	北	五	加	長	清	漆	伊
戸	本	牧	田	野	中	上	田	田	川	島	茂	岡	瀬	原	東

戦　評
11時天理の先蹴で開始7分天理吉田が大塚のハイパントを取ってトライしてから19分上島、鳥取、21分PG、24分上島、28分立野とトライを重ね、前半早くも大勢決す。神戸は僅かに10分頃敵陣に入ったのみで、PKを得て2度ゴールを狙ったが不成功に終り後半陣を代えてからは天理風を利して益優勢、3ゴール、3トライ（今流に言えば、6トライ、3ゴール）をあげて41－0で勝つ。
（中出）

会費納入お願い

59年度は、別記にありますよう148名の方々から会費を納入いただき有難度うございました。お陰で何とか運営を続けることができております。本年度もよろしくお願い申し上げます。

年会費　5,000円
払込先
○住友銀行　天満橋支店
普通預金　№9579778　凌霜ラガークラブ
○三和銀行　大阪駅前支店
普通預金　№27557　凌霜ラガークラブ

59年度現役戦績

主務　矢野順三

Bリーグ戦

9．9	神戸大	17	(4－4, 13－7)	11	大阪教育大	○
10．14	〃	9	(9－6, 0－6)	12	甲南大	×
21	〃	10	(4－10, 6－9)	19	関西学院大	×
11．11	〃	38	(18－6, 20－7)	13	京都教育大	○
18	〃	6	(0－11, 6－14)	25	京都大	×
25	〃	10	(0－8, 10－0)	8	関西大	○
12．2	〃	4	(0－4, 4－0)	4	大阪市立大	△

3勝3敗1分け　Bリーグ4位

	京大	市大	関学	神大	甲南	関大	大教	京教
京大		○	○	○	○	○	○	○
大市大	●		○	△	○	○	○	○
関学大	●	●		○	○	○	○	○
神大	●	△	●		●	○	○	○
甲南	●	●	●	○		●	○	○
関大	●	●	●	●	○		△	○
大教大	●	●	●	●	●	△		○
京教大	●	●	●	●	●	●	●	

三商大戦

12．8	神戸大	9	(6－10, 3－14)	24	一橋大	×

大阪市立大戦はリーグ戦で兼ねる（引分け）。

ジュニアーリーグ

9．8	神戸大Jr.	0－64		大体大Jr.	×
15	〃	23－4		立命館大Jr.	○
22	〃	0－40		同志社大Jr.	×
10．13	〃	8－34		大経大Jr.	×
20	〃	0－24		京都大Jr.	×
27	〃	16－9		関西大Jr.	○
11．3	〃	4－22		京産大Jr.	×
10	〃	16－25		甲南大Jr.	×
17	〃	4－47		近畿大Jr.	×
12．1	〃	6－18		大商大Jr.	×

2勝8敗　ジュニアリーグ9位

	同大	京産大	大体大	大商大	京都大	大経大	近畿大	立命大	神戸大	関西大	甲南大
同大		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
京産大	●		○	●	○	○	○	○	○	○	○
大体大	●	●		○	○	○	○	○	○	○	○
大商大	●	○	●		●	○	○	○	○	○	○
京都大	●	●	●	○		●	○	○	○	●	○
大経大	●	●	●	●	○		●	○	○	○	○
近畿大	●	●	●	●	●	○		●	○	○	○
立命大	●	●	●	●	●	●	○		●	○	○
神戸大	●	●	●	●	●	●	●	○		○	●
関西大	●	●	●	●	○	●	●	●	●		○
甲南大	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	

対一橋大ジュニアー戦

12．8	神戸大Jr.	38－0		一橋大Jr.	○

'84年秋季ゴルフコンペ報告

永井長造（昭31）

59年11月24日　宝塚高原ＧＣで開催。戦跡は下記の通り。

「チョロ」こと西松理夫氏がチョロを連発したが、リカバリー良く、ネット67で優勝。猛打賞は田中初雄大先輩に。天気にも恵まれ、気持よくゴルフができて何よりだった。

氏名	卒年	I	O	G	H	N	賞
西松　理夫	昭31	41	44	85	18	67	優勝
野村　康治	昭34	38	46	84	15	69	2等賞
永井　長造	昭31	46	45	91	18	73	3 〃
松下　晴彦	昭36	41	48	89	16	73	
稲岡　正信	昭16	46	50	96	22	74	
太田　奎吾	昭27	52	45	97	23	74	
嘉納　洋二	昭26	42	46	88	13	75	7等賞
井谷　孝之	昭25	50	52	102	27	75	
土居　通顕	昭36	45	50	95	18	77	
能勢　一朗	昭16	56	54	110	32	78	10等賞
五島　治	昭16	55	55	110	30	80	B.B.賞
田中　初雄	昭12	64	60	124	32	92	猛打賞

次回は60年7月に開催予定。近日中に案内状を出しますので奮ってご参加下さい。

昭和60年度総会予告

昭和60年度凌霜ラガークラブ総会を下記の通り開催するよう予定致しております。とりあえずは日程表に記入しておいて下さい。詳細につきましては開催日近くになりましたら再度ご案内申し上げます。会員各位におかれましてはご多忙のこととは思いますが、万障お繰り合せの上、ご出席下さいますようお願い致します。

記

凌霜ラガークラブ総会
日時　昭和60年10月3日（木）　18時30分
場所　大阪凌霜クラブ　　06－345－1150
会費　8,000円（予定）

東京総会予告

凌霜ラガークラブ東京支部では下期の通り東京支部総会を予定しております。近日にはハガキにて詳細にご案内致します。万障お繰り合せの上ご出席下さい。

記

凌霜ラガークラブ東京支部総会
日時　昭和60年9月13日（金）　18時30分
場所　東京凌霜クラブ　03－213－8086
会費　3,000円（予定）

寄稿のお願い

編集部では会員諸兄諸姉よりのご寄稿をお待ちしております。一部の方々には手紙または電話にてお願いしておりますが、それ以外の方もどしどしご寄稿下さい。ほんの3～4行でも何千字でも結構です。お待ちしております。

59年度会費納入者

野中克己（昭44）

59年度は3月13日現在で下記の方々から会費の納入がありました。ありがとうございます。それ以降納入されました方は申し訳ありませんがご氏名が洩れております。ご了承下さい。60年度もよろしくお願い致します。（敬称略）

昭 2 平野
昭 3 高原
昭10 水野
昭11 杉山
昭12 國領、菊谷、田中、甲斐、水田
昭13 小池
昭15 田中
昭16 五島、能勢
昭18 妹尾、阿部
昭19 田中、門田
昭20 金田
昭21 岡田
昭22 三宅、森田
昭23 伊東、今津
昭24 羽田、伊藤、木田
昭25 島村、山本、岡田
昭26 嘉納、柏木、木村
昭27 太田、永田、池田、藤井、平木、柚木
昭28 河野、森本、村本、坂口
昭29 山本、木下
昭30 赤崎、井沢、名取、横田、鎌倉
昭31 松本、小林、盤井、伊藤、荒谷、永井、浅野、西松、高塚
昭32 安中、小川、大音
昭33 野川、浜田、山下
昭34 松村、野村、村尾、塩谷
昭35 河島
昭36 山口、土居、永田、松下
昭37 久我、橋本、千歳、鍵野
昭38 竹添、堀本、山中、富士
昭39 松下、野村、中重
昭40 國澤
昭41 石谷、井上、松村
昭42 佐々木、岩崎
昭43 室賀、原口、寺西、矢野、徳宮、葉室
昭44 田中、野中、用水原、浅野、高橋
昭45 福原、和田、北岡、清水
昭46 小川、鷹尾
昭47 尾上
昭48 鈴木、阪下、渡辺
昭49 田中、森
昭50 吉沢、淵田
昭51 家合
昭52 星川、木村、中崎、山形、糸井
昭53 明慶、中野、山野、磯江、山入端
昭54 林、西本、土岐
昭55 杉木、加藤
昭56 本城、森内、神野
昭57 中本、福田
昭58 仁張、織田、山中、向井、國本
昭59 小松、三森、石崎、雲財

編集後記

話は古いが、2年半ほど前の秋のある日、東京から友人の来訪を受けた。聞くと、ご子息が東京のM高校のラグビー部に居り、翌日の花園で行う試合のために、父母が当番で応援を兼ねて子供達の世話のために来阪したとのこと。3年半ぶりの出会いに、一杯やりながらの秋の夜長の話のうちに、ついついM高校のラグビー部の金の掛る話になった。翌年に高校へ入る息子、まして高校でラグビーをやりたいと言う息子を持つ吾が身にとってなんとなく空恐ろしい数字にガクゼンとした。友人は商売をしておりそれに耐え得るだけの収入があるから良いが、サラリーマンの私にはとてもじゃないがそんな高校にやることはできないと思った。その話の端々に例のU監督の事件が発生する可能性のあることがうかがわれた。

しかし、それよりも興味ある話があり驚いた。上級生が、特にレギュラーになれるかなれないかという線上にある上級生が、自分より能力のある下級生、彼によって自分がレギュラーになれないと思われる下級生に対して目に余る陰湿ないやがらせをし、例えば合宿の食事でめしに土をまぶしたり、みみずを喰わしたり、喰わなければ上級生の言うことが聞けないのかと殴ったり、結果、多くのラガーとして将来性のある下級生達が辞めていったと言うのである。ついこの間も香川県のJ高校の野球部でも同じ様な事件で下級生が集団で脱走する様な事があったが、同じ様な事がどこでもあるようだ。結局、一昨年、昨年と全国大会の予選で敗れることになり、金の問題が表沙汰になったのではないか。ラグビー以前の問題の様に思えてならない。

この後は新聞等でご存知の通りだが、全国大会に出場するのとしないのでは大学の眼の付けようが違い、例年の半分くらいしか大学に入れなかったため父母達がもめ出したという訳らしい。さらにそれがM大にまで飛火した感がある。

M大の問題もかなり前からくすぶっているのを聞いていた。昨年、シーズンオフになったらもめるよと云ってる通りになった。これももともとくすぶってたものが入試問題漏洩、コーチの事故、大学選手権大会への不出場等が重なって遂に表に出たということか。

同じ会社にM大・Y製鉄の名ウイングだったM氏が居るがM氏は渦中の人らしく、これに関しては口を開こうとはしない。さすがと言いたい。

いずれにしても、同じラグビーをやったものとして、一刻も早く正常に戻ってくれる事を願う。

伊東先輩、原稿をどうも有難うございました。戦中、戦後の苦るしさ、辛さが身にしみます。

主務の矢野君、現役全員の「抱負」のまとめありがとう。おかげで助かりました。

現役諸君、楽しくラグビーをやることも大切だが、勝つことがもっと大切なんだ。練習をせずに勝つ方法や、楽しく勝つ方法なんかは無いよ。練習をすれば勝てるだけのものを持っていると思う。（他校の監督より聞いている）頑張ってほしい。

中山、木水両先輩、無断でお手紙を載せさせていただき申訳ありません。どうしても紙面が空きましてどうにもならなくてつい載せさせていただきました。おかげで助かりました。